

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

改善事例発表大会2026

東北・北海道地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ~改善事例発表大会の開催に寄せて~

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでにない気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人財育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの**「現場力」**をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
会長 河合 満
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！

→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。

2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。

3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。



発表企業

企業名50音順
法人格略

発表数：9社11事例！発表事例数、年々増加中！！

アイシン東北

トヨタ自動車東日本

アイシン高丘東北

トヨタ自動車北海道

サタケ東北

日産自動車

JFEスチール

日本製鉄

デンソー岩手

開催情報（東北・北海道地域）

2026年6月19日（金）開催
仙台市中小企業活性化センター

今大会の東北・北海道地域では、下記の発表傾向の特色がみられます



イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間		発表情報	
09:30▶		開場・受付開始	
10:00▶10:10		開会のあいさつ	
事例 1	10:10 ▼ 10:30	運転・製造 ガラス接着剤測定作業の改善による働き方改革 トヨタ自動車東日本株式会社 本社 ものづくり組立研鑽部 組立整備課	加藤 洵哉 <発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化
	10:30 ▼ 10:50	運転・製造 気づきから技術へ ～ホース破れゼロが拓く専門保全の扉～ アイシン高丘東北株式会社 デフ加工グループ 班長	川島 圭亮 <発表キーワード> ● 自主保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 予防保全・予知保全
10:50▶11:00		休憩	
事例 3	11:00 ▼ 11:20	工務・保全 制振材ロボット材料ホース パンクゼロへの挑戦 トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大衡工場 工務部設備課 塗装・化成設備係	齋藤 高志 <発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 人材育成 ● 改良保全
	11:20 ▼ 11:40	工務・保全 制御システムネットワーク故障時間短縮 JFEスチール株式会社 棒線事業部仙台製造所 設備部	小野 桜杏子 <発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し
事例 5	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 ダイカストスリーブかじりゼロへの挑戦 - 4課の困り事を解決し、自主保全までつなげた改善奮闘記 - トヨタ自動車北海道株式会社 生産保全支援部 第2設備課 第2作業係	山本 海翔 <発表キーワード> ● 改良保全 ● 自主保全
	12:00▶12:45		昼休憩(お弁当をご用意しております)
事例 6	12:45 ▼ 13:05	運転・製造 仲間が変わる、組織が変われる、会社の風土が変化する サタケ東北株式会社 製造部 モノづくり班	班長 高橋 秀一 佐々木 俊和 廣野 崇 <発表キーワード> ● 人材育成 ● 作業の効率化・容易化
	13:05 ▼ 13:25	工務・保全 T.K.G.で設備改善と意識改革 株式会社デンソー岩手 電子デバイス工場 電子デバイス技術部 パワーカード設備保全課	高橋 直基 <発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し
事例 8	13:25 ▼ 13:45	工務・保全 トリッパーコンベヤ乗継部落炭減少・作業改善対策 日本製鉄株式会社 北日本製鉄所 設備部 釜石整備室	佐々木 洋輔 <発表キーワード> ● 改良保全 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し
	13:45▶13:55		休憩
事例 9	13:55 ▼ 14:15	工務・保全 ダイバーシティーな職場づくりを目指して アイシン東北株式会社 自動車部品事業部門 製造部 保全グループ	太田 雄也 <発表キーワード> ● 職場のダイバーシティー ● デジタル技術を利用した改善
	14:15 ▼ 14:35	工務・保全 オペレーターと保全員とのバディ活動 ～安全安心な加工機内切屑清掃へ～ トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大和工場 生産部 設備課 1係 組長	相澤 学 <発表キーワード> ● 安全 ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全
事例 11	14:35 ▼ 14:55	工務・保全 自身が変わる。仲間が変わる。職場が変わる。 TPMが紡いだ成長物語 日産自動車株式会社 いわき工場 UP6 作業指導員	小豆畑 大輔 <発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 人材育成
	14:55▶15:05		休憩
15:05▶16:05		発表者との交流会	
16:05▶16:20		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介	
16:20▶16:35		表彰式	

<p>事例 1</p> <p>D</p> <p>ガラス接着剤測定作業の改善による働き方改革</p> <p>トヨタ自動車東日本株式会社 本社 ものづくり組立研鑽部 組立整備課</p> <p style="text-align: right;">加藤 洵哉</p> <p>ガラス接着剤測定業務は週末の工場非稼働日に実施するため保全係の立ち合いが必要。毎回保全係を巻き込んでの週末出勤が多くなってしまふ事為、今回はDXの技術でガラス接着剤塗布測定時間を短縮し週末出勤を減らした事例です。</p>	<p>事例 6</p> <p>O</p> <p>仲間が変わる、組織が変われる、会社の風土が変化する</p> <p>サタケ東北株式会社 製造部 モノづくり班</p> <p style="text-align: right;">班長 高橋 秀一 佐々木 俊和 廣野 崇</p> <p>ヒエラルキーによる受動的活動から、自らが能動的活動に変化するためには、どの様な行動を起こしたらよいか。Plan⇒Do⇒Study⇒Actionに活動を変化させた。人材・設備・生産手法に苦悩と情熱で行動し、いにしへの文化へ向かいあった取り組みを発表する。</p>
<p>事例 2</p> <p>P</p> <p>気づきから技術へ ～ホース破れゼロが拓く専門保全の扉～</p> <p>アイシン高丘東北株式会社 デフ加工グループ 班長</p> <p style="text-align: right;">川島 圭亮</p> <p>油圧ホース破れゼロを起点に、自主保全を強化。気づく力を育て、原因追究を通じて設備対応力を高め、専門保全へ発展させた活動を発表する。</p>	<p>事例 7</p> <p>P</p> <p>T.K.G.で設備改善と意識改革</p> <p>株式会社デンソー岩手 電子デバイス工場 電子デバイス技術部 パワーカード設備保全課</p> <p style="text-align: right;">高橋 直基</p> <p>パワーカード生産設備の窒素流量異常をテーマに、真因追及と検証機活用により再発を防止し、設備信頼性と保全力向上を実現した改善事例を発表する。</p>
<p>事例 3</p> <p>P</p> <p>制振材ロボット材料ホースパンクゼロへの挑戦</p> <p>トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大衡工場 工務部設備課 塗装・化成設備係</p> <p style="text-align: right;">齋藤 高志</p> <p>制振材ロボット工程で使用している材料ホースのパンクが発生し生産阻害になっている。パンクする要因を洗い出し、関連する部署も巻き込んでホースパンクをゼロ件にする活動を発表する。</p>	<p>事例 8</p> <p>C</p> <p>トリッパーコンベヤ乗継部落炭減少・作業改善対策</p> <p>日本製鉄株式会社 北日本製鉄所 設備部</p> <p style="text-align: right;">佐々木 洋輔</p> <p>釜石整備室 釜石では石炭での発電をしており、石炭を船からパイプコンベア、トリッパーコンベアで構内に輸送している。パイプコンベアからトリッパーコンベアへの乗り継ぎ部で落炭が多い。落炭防止構造の改良保全を行い、清掃回数の削減を推進する取り組みについて発表する。</p>
<p>事例 4</p> <p>P</p> <p>制御システムネットワーク故障時間短縮</p> <p>JFEスチール株式会社 棒線事業部仙台製造所 設備部</p> <p style="text-align: right;">小野 桜杏子</p> <p>ネットワーク故障対応の長時間化要因を分析し、監視・アラーム機能の不足や専門知識依存が課題と判断。対策としてネットワーク監視ツールを自施工で導入。「見える化」により異常の早期発見と特定、対応時間削減を達成した事例を発表する。</p>	<p>事例 9</p> <p>M</p> <p>ダイバーシティな職場づくりを目指して</p> <p>アイシン東北株式会社 自動車部品事業部門 製造部 保全グループ</p> <p style="text-align: right;">太田 雄也</p> <p>当社も設立34年を迎え、第1世代がいまだに現役で活躍しているが、年々体力の衰えを感じている。更に職場の主力が抜けて、人材不足となり、多様な雇用形態が求められる。外国籍のメンバーや高齢者などが安心して共存し、働ける職場づくりを実践した事例を発表する。</p>
<p>事例 5</p> <p>M</p> <p>ダイカストスリーブかじりゼロへの挑戦 —4課の困り事を解決し、自主保全までつなげた改善奮闘記—</p> <p>トヨタ自動車北海道株式会社 生産保全支援部 第2設備課 第2作業係</p> <p style="text-align: right;">山本 海翔</p> <p>設備保全・製造現場・技術室・型保全の4課が共通して困っていたスリーブかじりについて、部署横断で原因を深掘りし、根本から改善。最終的には製造現場が自主保全で管理できる仕組みを構築した取り組みを発表する。</p>	<p>事例 10</p> <p>S</p> <p>オペレーターと保全員とのパディ活動 ～安全安心な加工機内切屑清掃へ～</p> <p>トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大和工場 生産部 設備課 1係 組長</p> <p style="text-align: right;">相澤 学</p> <p>オペレーターが加工機の切り屑清掃をしているが、YK作業となっていた。製造現場が困っていた作業に対し、保全部署とタッグを組んで、お互いの率直な意見を出しあって、一つ一つ解決していった事例を発表する。</p>
<p>P：生産性に関する事例 Q：品質に関する事例 C：コスト・原価低減に関する事例 D：納期・リードタイムに関する事例 S：安全（労働安全・防災等）に関する事例 M：士気・組織活動・働きがい等に関する事例 E：環境・カーボンニュートラルに関する事例 O：その他（other）</p> <p>プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。 最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください。</p>	<p>事例 11</p> <p>M</p> <p>自身が変わる。仲間が変わる。職場が変わる。 TPMが紡いだ成長物語</p> <p>日産自動車株式会社 いわき工場 UP6 作業指導員</p> <p style="text-align: right;">小豆畑 大輔</p> <p>清掃中心で形骸化していたTPMに、あるきっかけを機に自ら行動を変えて課題に挑戦。仲間の協力を得ながら課題改善を進めることで、個人の気づきと成長が職場全体の意識変化と成果につながった活動事例を発表する。</p>

改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者 懇話会会員 価格※3
会員※1	一般	会員※1	一般	
19,250円	25,850円	9,900円	14,300円	ご招待

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付**いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込み**ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付**いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2026年6月10日(水)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL : 0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail : EVENT@jipm.or.jp